

2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.001

釣行月日: 2026年06月01日(月) 06:20~17:10

天気: 晴後曇, 気温: 16℃, 水温:

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 70尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

いよいよ解禁! 前日, 入川場所を決めるために関東から来られた方と各河川を見てまわった。

請川, 大塔川, 四村川, 本流, 赤木川と回り全部アユが確認でき, 黄色いアユも居た。赤木川では追い気のアユが確認できるが場所取りされている。釣り人が多いことが予想され午前中で付きアユが獲られて終わる可能性も考えられ, 本流ならのんびりできそうなので本流に決定。ゆっくり睡眠をとって解禁に望む。

半年ぶりなので体が慣れておらず泳がせの操作が安定しない。直ぐに反応が出て掛かるも小さい。昨日見たアユとは違うサイズ, こんなはずじゃ? 次は坊主ハゼ, その次はまた小アユ。

水温が低めなのでオトリはそんなに弱らないので安心。流れのある下に移動しながら様子を見る。しかし, なかなか掛かってくれない。2尾程オトリサイズが掛かったけどバレてしまい不調。一段下の瀬肩から下の浅瀬で掛かるもバレ, その次によく16cmのアユを獲りこむ。それからオトリが天然に替わると周辺で掛かり循環しだしあつという間に10尾程掛かる。結果午前中33尾となった。宿で作ってもらった弁当を食べてから再開。朝いち掛からなかったポイントでやってみると2尾掛かる。しかし根掛りして場所を荒らしてしまったので, 午前中やっていなかったポイントを探しながら歩いて回る。別の浅瀬でとりあえずやったら掛かったの, まさかと思い周辺でやるとこれまた掛かった。この周辺で15尾程掛かる。当たりが遠のいたので, 昼前に掛かっていた場所に戻り細かく泳がせる筋と泳がせパターンを変えたりしてやると入れ掛りもあり数を稼げた。良い解禁日となった。動画: https://youtu.be/3xq0_e3X_LU



No.002

釣行月日: 2026年06月13日(土) 07:20~16:50

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 若干高め

釣果: 41尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

大雨から水が引いて苔がまだ付いていないと思い行こうかと迷ったが行ってみることにした。本流は相変わらず風屋ダムから濁り水を放水し, 二津野ダムも流入した分を放水しているので濁りも取れないままとなっていた。日置川や古座川では濁りも殆ど取れているのに… まずは赤木川へ行ってみる。

小和瀬では入りの色は白くアユが群れているようで厳しそう。

小口辺りは苔が残っているところもありそうなので竿を出してみる。

思った以上に追いが良く型も小型でなくオトリには殆ど使える状態だった。

釣り返しが利かず少しずつ場所を移動しながら掛かるポイントを探すやり方で釣っていった。何とか40尾程掛かった。

動画: https://youtu.be/10baVR-_YmQ

2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.003

釣行月日: 2026年06月14日(日) 07:40~18:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 38尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

解禁から数日後の釣行になる。少し高水で水温も低いので厳しい釣りになりそうな予感。

最初オトリを天然に帰るのに苦戦。流れのきつい所でようやく掛かりそれからポツリポツリと掛かる。

今の時期で安曇川にしては良型の部類。途中監視員が回って来て釣果は全体的に良くないとのこと。船橋から水管橋上流まで釣り歩いて天井糸から外れてダブル放流, エビで引き寄せ中に糸切れなどのトラブルがあり40尾届かず。

まあこれが実力といったところかな? 一日曇り空で風が吹くと寒かった。

照り込みがあればもう少し掛かったのかもしれない。



No.004

釣行月日: 2026年06月21日(日) 07:30~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 平水

釣果: 50尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

解禁日は雨の様だったので翌日に行くことにした。何処に入ろうかいつも悩むところ。

解禁日にはそこそこめばしいポイントに竿が入っているので釣り返しの聞きそうなポイント...

京北橋周辺に入ってみる。上流の右岸側の浅瀬からスタート。

三ヶ所ポイントをずらしても掛かる気配がない。石の色は良いけど... 川を渡って左岸側を攻めてみる。

しかし, 1尾めがなかなか掛からない。やっと掛かるもバレ。その次に待望の1尾。17cmの良いアユを確保できた。

入れ掛りはないもののほぼ一定の間隔で掛かる。昼頃までに20尾強。

午後からも前後移動して狭い範囲ながらそれなりに掛かり50尾きりの良い所まで頑張ってみた。

日が照り込み水温が上がれば広範囲に掛かる可能性が高い。今後, 期待できそう。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.005

釣行月日: 2026年07月04日(土) 07:30~16:00

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 53尾, サイズ: 14cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

週末になると天気も悪くここずっと行けていない。

今回も前日の予報だと雨だったが安曇川なら曇になっていたので急遽釣行を断行。

釣り場には既にそれなりの釣り人が見られる。

空いているポイントに入り一発目は1分も掛からず野アユに替えられた。10尾程テンポ良く掛かる。昼頃には40尾弱となったが、午後からは段々と厳しくなり3時頃から雨が降り出した。当たりもほとんどなくなったので場所移動も億劫になり早めに納竿とした。晴れの暑い日にやりたい。



No.006

釣行月日: 2026年07月10日(金) 07:40~17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 15cm程高め

釣果: 61尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

久しぶりの好天気。アユの活性が上がり釣果が期待できると思い出かける。

またしても古川のポイント。それなりの釣り人が居るので何処に入ろうか迷う。水量も前回よりも多く水位が高い。

小石底では白い所もあり苔も十分ではない。

最初は掛からないので大石ゴロゴロの瀬で掛かる。周辺で5尾程掛かり何とか1日釣りが出来そう。

その後、トロの駆け上がりでポツポツと掛かる。午前中は30尾程となった。

午後からは下流の分流の左岸の流れのほうに入り残り苔を狙って30尾程掛かった。

水がもう少し引いて十分な苔が付けばもう少し掛かるのでは？



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.007

釣行月日: 2026年07月11日(土) 08:30~18:00

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高め

釣果: 15尾, サイズ: 13cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

神吉地区の組合の大会に参加。水位は高めの様で曇の中どうなるやら。

瀬落ちの流心の脇で1尾掛かるもそれから掛からず。ちょっと下の寄れで蹴られ暫く掛からず。

亀の甲橋下流へ移動いつものポイントでやっても掛からず。まぐれで掛かっても根掛りで回収できず1尾のまま。

さらに下の瀬で3尾掛かった。1尾は身切れ。結局午前中は4尾。尾後からも橋の下で4尾と貧果。

午後4時頃、神吉の方が宴会で帰るので掛かった天然は進呈し、養殖でやり直し。

橋の上の瀬落ちの泡で良型がヒット。しかし、深みで根掛りで回収できず天然0尾に戻る。かなりショック。

ツ抜けしたく頑張っても掛かるポイントが見えない。

半分諦めて瀬脇の淀んだ所にオトリが行くのでそのまま泳がせてたら、目印が横に走る！こんな所で掛かる？

同じように弛みを泳がせたらまた掛かる。6時までやって何とか7尾になり合計15尾とツ抜けできた。

今日は泣きそうなくらい掛からなかった。



No.008

釣行月日: 2026年07月12日(日) 07:30~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 82尾, サイズ: 12cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175, ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

昨日の上桂川で泣きそうなくらい掛からなかったのも、まだましな安曇川に釣行。

今年まだ行っていない野尻に行ってみることにした。もすでに数名が入川されておりポイントの選定に悩む。

駐車場のすぐ前の瀬では水位も高く流芯は厳しそう。

上流へ歩いて行くも草が長くなって壁のような細い道？を行かねばならない。

瀬肩に近い所まで来たが昨年よりも小石で埋まっている。右岸の葦際辺りでは石もあり苔も残っている。

天然に替わり循環も良くなり良型が連発。10数尾掛かった所で左岸側の浅場に移動。小石ながらも小さすぎないそれなりの大きさの石が敷き詰まっており、石の色も良い。元気な天然で泳がせると掛かる。それから上下あちらこちらに泳がせても掛かる。型もデカすぎるくらい。連発で昼過ぎくらいで40尾になる。

左岸側を上下移動しながらやって広瀬から小鮎が上がってきている話を聞いていたが、そのアユがたまに掛かる。

しかし、掛かるアユが殆ど17cm以上でたまに20cmを超えるものが掛かり最高の引きを堪能できた。

ナイロン0.175では途中でどんぶりして0.2号に張り替えた。

どんぶりで逃げられた鮎が後で掛かり3尾のアユが回収できた。

今回は頭がおかしくなるくらい良型アユの当たりと引きの良さに夢になった。予想もしなかった釣果に満足。

まだ浅場で広範囲に掛かる所ではなく限られた筋のみしか反応が無かった。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.009

釣行月日: 2026年07月17日(金) 07:30~18:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 神通川(富山県)

水況: 減水気味

釣果: 112尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

久しぶりの北陸遠征。昨年掛かった場所に行ってみる。

浅い, いや殆どの石に青藻が付着していて状況的に良くなさそう。瀬肩から開始するも掛かる気配が無い。

上流のトロ場に行ってみる泳がせながら水中の状態を確認する。

小さいアユは数は見られる。少し大きめのアユも確認できた。しかし, 養殖のアユでは見向きもされない。

朝なのか掛かりそうもない。昨年は良く掛かったのになあ。下流の瀬に移動してみる。

上流の場所よりは石の色も良く艶がある。良さそうなポイントを泳がせるやオトリサイズよりやや小さめ。

何とか天然に替えることが出来た。

その後, たまにましなサイズが掛かり段々と回転が良くなり, 流れがきつめの所に移動しながらやってみる。

掛かるペースが良くなり良型も掛かる。対岸の方に渡ってやるとさらに良型が入れ掛かる。

昼までに50尾強。オトリ缶に移すため戻る。関東から来られた方も参戦。

午後からも先程の瀬で入れ掛りは無いものの適度に掛かる。夕方落ち込み寸前のからちよっと上の瀬で入れ掛かる。

100尾超えたところで納竿。ポイントに限られるが, 全般的に瀬の方が良いのか?

浅場やトロではまだ時期的に早いのか? 8月中旬以降に期待。



No.010

釣行月日: 2026年07月18日(土) 07:00~18:30

天気: 晴後雨, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 神通川(富山県)

水況: 減水気味

釣果: 82尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日も同じ場所に入ってみる。連休初日とあって釣り人も多そう。昨日のポイントは流石に入れ掛りは無いものの,

何とか掛かるので辛抱の釣り。ポイントによっては入れ掛りもあり午前中は58尾。午後からはオトリの循環に失敗して

オトリ缶の所まで戻ろうかと思っていたが, オトリがやっと変わった。しかし小さくて循環が悪い。

場所を替えながら少し回るようになってきたら雨粒と雷音がし出し, 竿を畳み車まで戻り待機。夕立ちがあったものの

短時間で止み雷雨も北の方へ移動したようなので再開。4時過ぎになったけど, 釣り人が居なくなり関東から来られた方

と6時過ぎまで堪能。午後からはオトリ継ぎに失敗したもののそれなりの釣果に満足。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.011

釣行月日: 2026年07月19日(日) 07:00~15:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 神通川 (富山県)

水況: 減水気味

釣果: 50尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

最終日は上流のポイントに入るもいきなりタモを忘れ往復して30分のロス。それにしても青藻の付着がありあまり良い状態ではない。今日も多くの釣り人で賑わいそう。

昨年掛かったポイントでは小さいアユはウロウロしているが掛からない。やはり瀬なのか? 瀬に移動して、1尾めのオトリがへばって来て駄目かと竿をベタにしてオトリを止めていたら待望の野アユが掛かった。ハゼの猛攻に5回ほど会いながら天然を追加していき、午前中30尾になる。午後からは関東の方も朝いち掛からなかった浅場に行ってみる。

小さいながらもたまにオトリサイズも掛かり十数尾掛かった。

対岸の関東の方は良型サイズを連発。ちょっとした場所に寄るのか?

しかし少し上流に大きなヒレを出しながら波を立てる巨大魚が数尾出沒。怖いので、場所移動。

瀬に戻り泡立ちをやってみる。早めになるが、50尾になったら止めようと思って意外と短時間で達成できたので納竿。

掛かる場所が限られているのでポイント選びが釣果を大きく左右しようと感じた。



No.012

釣行月日: 2026年07月20日(月) 09:30~17:30

天気: 晴後雨後晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: 平水

釣果: 65尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

家でのもんびり過ごそうと思っていたけど、川にを使って涼む方がましと思い近場に出かけることにした。

野尻だが、先行者1人とは寂しい限り。しかし、掛かる所が限られるので… 最初はオトリ継に苦戦。

掛かってもオトリにはならないのが多く回転しない。

前回かった瀬でようやく良型が2尾追加できこれからと思って浅場に移動。

期待したが水が引いたためかコアユが多すぎてか追いが無い。最後は葦の際を攻めると良型が連発する。

掛かったときに葦に逃げ込まれないように注意を払いながら獲り込む必要があった。

掛かる筋が限られ状況的には厳しい。

浅場では殆ど掛からず。コアユが無数に見えるも小さすぎて友釣りの対象にはならない。もう半月はかかるかな?



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.013

釣行月日: 2026年07月25日(土) 06:30~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 41尾, サイズ: 11cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

1ヶ月以上ぶり?の釣行となる。雨続きで苔が付くまでと思ってたら今回までとなってしまった。

途中土砂崩れで国道18号線は通行止めとなっている。

https://www.vill.totsukawa.lg.jp/traveling_guide/blog/index.php?c=blog_view&pk=1784251872

を参考に緑色の迂回ルートで行ってみた。林道とはいえそんなに細い道はなくスムーズに行けた。

到着後、請川に入ってみる。また川相が変わって瀬が殆どなくなってしまっていて釣り辛い感じになっていた。

浅場でやるもアユがあまり見えず型も小さめで後が続かず。敷屋に移動してみたが此処も川相が変わってしまっていて瀬が無くなっているところもありぐるりと回ってみたが釣り返しの続くポイントが見えてこない。型も全体的に小ぶり。

夕方、ちょっぴり掛かるポイントが見えてきた感じ。とにかく浅場ではあまり掛からなかった。

坊主ハゼは何処でも掛かる。



No.014

釣行月日: 2026年07月26日(日) 08:00~16:40

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 24℃

河川: 赤木川・熊野川 (和歌山県)

水況: 減水気味

釣果: 45尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

何処も厳しい様でこの暑さで苦戦しているようだ。赤木川へ行っても状況は同じ様で追うようなアユはあまり見かけられない。群れている様で期待できそうもない。11時前には早めの弁当を食べ、どうせ釣れないならと、昨日の夕方敷屋のポイントでのんびり辛抱して釣ってみることにした。股まで浸かって涼みながらやってみた。

入れ掛りは無いものの泳がせてたらそのうちコンスタントに掛かる。

それも黄色いアユばかり。引きはあるが小ぶりでちょっと残念。でも昔はこんなもんだったかな?

これから水温が下がる頃には浅場も掛かるのだろうか? 帰りは青色のR425

https://www.vill.totsukawa.lg.jp/traveling_guide/blog/index.php?c=blog_view&pk=1784251872

を通ったが昨日の緑色の林道のほうが走りやすかった。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.015

釣行月日: 2026年08月01日(土) 08:00~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 52尾, サイズ: 8cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

何処も暑さと減水で厳しそう。近場の安曇川にしてみる。今回も野尻。

殆どの方は上流や支流の型狙いで行かれ大野堰堤か下は釣り人は少なそう。

野アユに変えるのにかな苦労する。オトリになるサイズがなかなか掛からない。5尾に1尾掛かるかどうかである。

いつものように葦の際で良型が掛かるも連荘がない。昼過ぎに後ろから声がする。

倶楽部の方だった。有田川に行く方が多いと思うが、安曇川に来られるとは…

50尾は掛かったが半分以上が小さいので友釣りをした気がしなくて疲れがどっと出てしまう。

あと1cm以上大きくなればマシになると思うけど… 8月後半頃からか?



No.016

釣行月日: 2026年08月02日(日) 09:30~17:30

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 78尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175, ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

今日は車の洗車と物の発送の予定で, 1日のんびりと家で過ごす予定だった。

しかし8時頃までに用事を済ませたので, 釣りに出かけてしまった。

コアユを相手に丁寧な泳がせを心がけて, オトリ1尾で挑んでみる。

古川ポイントへ行くも流石に先行者少なく車一台のみ。下流の瀬に2人見えるのみ。

まずは棚の緩い流れから始める。3尾連続コアユが掛かる。しかしオトリには使えるサイズに満たず!? 上流の浅瀬に

行ってみて超浅瀬になっている。いつもなら良く追うのだがコアユしか掛からず。その中でも何とかオトリに使いそう

なサイズを使ってみるとこれがきつい瀬でもぐいぐい泳いでいく。

掛かるとそれなりの目印の動きと引きの良さ。引き抜いてみるとコアユ。

これの繰り返し。数はそこそこ出るけど…2cm程大きければもう少し楽しめるのにと。

ごく稀に16cm前後の黄色いアユが掛かる程度。

暫くはコアユ釣りが続きそう。でも掛かったときの当りは十分楽しめる。

元々はこのようなアユがメインだった記憶がある。前半型が良すぎた。

それにしても良型アユは何処へ行ってしまったのだろうか?



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.017

釣行月日: 2026年08月11日(火) 08:00~16:30

天気: 曇後晴, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 高津川 (島根県)

水況: 減水気味

釣果: 36尾, サイズ: 17cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

父の見舞いに9日, 10日に行ってから高津川に移動し翌日に釣りをした。父の容体が気になるが連絡が無いことにひとまず安心し, 道の駅「かきのきむら」に入る。先行者がひとり居たので, その少し上に入る。夏の高水温では良い思いをしたことがないので掛かるかが不安。案の定, 追われる気配が無く少しずつ上に移動しながらやると1時間以上経過しても掛からず。倶楽部の方が何日か前に入って苦勞したのが判る気がする。オトリが弱らないように無理が出来ない。瀬肩前まで来たけど掛からない。上飛ばしで登らせて大石の前に引き戻して糸を緩め落とし込んだ瞬間に閃光が上流に勢いよく走った。待望の野アユで良型が獲り込めた。オトリが替わったら周辺のアユが反応したのか数尾掛かった。結局7尾程しか掛からず。上流に行こうと思ったが刺し網?や水遊びをする人が見えたので, 移動に時間がかかり曳舟のアユが弱る可能性があるため, 下の釣り人がやっている瀬の下瀬落ちに移動する。しかし, 瀬落ちでは掛からず... 一桁釣果が頭の中をよぎる。さらに下の瀬肩に移動するとアユの影が見えたのでとりあえずやってみる。最初はなかなか掛からなかったが, なんかの拍子で掛かりそこから少しずつ循環しだす。風が出て鏡が波立つようになるとトロでも掛かり, 面白い様に入れ掛かる。16時半になった頃に納竿。家にたどり着いたのは23時半頃, 翌朝実家から父の死の連絡があり約700kmの道のりを引き返すことに。動画: <https://youtu.be/MBxg0pFCre0>



No.018

釣行月日: 2026年08月18日(火) 07:50~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: 減水気味

釣果: 76尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

近場の朽木に釣行。今回もコアユ相手に遊びに古川ポイントへ。既に先行者が数名入川していた。空いているチャラ瀬に入る。少し大きくなったか確認したがあまり変わらなかった?若干オトリに使えるサイズが増えたかな?という感じ。もう時期的には白子・卵を持つ頃。9月初旬位で終盤? アユは沢山見えるけど追うアユが少ない?様に感じる。今年は思うポイントでは苦戦している。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.019

釣行月日: 2026年08月22日(土) 06:40~17:40

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 神通川(富山県)

水況: 減水気味

釣果: 117尾, サイズ: 12cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

元々予定していた河川が昨日の大雨で増水・濁りで釣行できそうもないので、急遽予定変更。

およそ1ヶ月ぶりの釣行。少しは状況良くなったかな? 期待と不安のなかまずはオトリ購入。

昨年、今年の三桁ポイントに入る。オトリに鼻カンを通そうと養殖をタモに入れると何ともう錆が… え〜である。

もう終盤かと残念な気持ちになってしまった。最初天然に替わるまで少し時間がかかった。掛かったのは今の安曇川サイズ。何とかオトリにしてちょっと苦労したが少しまともなサイズに。

次は18cm級の野アユ。それからは循環しだしオトリにはもう心配は無くなった。

後は掛かるポイントや筋を確認しながらやる。午前中は57尾、車まで戻り休憩。午後からは60尾とますます。

明日は昨年の第2三桁ポイントでやってみよう。



No.020

釣行月日: 2026年08月23日(日) 07:00~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 神通川(富山県)

水況: 減水気味

釣果: 103尾, サイズ: 10cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

昨年過去最高釣果(164尾)となったポイントへ。今年は7月に入ったがあまり掛からなかった。

今日はどうか確認したい。オトリは天然からスタート。一発目は小さいが、昨日と同様オトリにして大きなサイズが掛かるまで辛抱。前回と明らかに掛かる範囲が広がった感じでサイズもかなりデカイサイズが掛かるようになった。

午前中は60尾。午後は43尾。午後はチャラ瀬を狙ってみたがまだ遊びアユが掛かりにくかった。

平瀬が全体的に良かった。9月にはさらに掛かるアユが増えるのを期待したい。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.021

釣行月日: 2026年08月24日(月) 06:40~16:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 神通川 (富山県)

水況: 減水気味

釣果: 75尾, サイズ: 10cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

今回は新開拓ポイントを求めて入る。瀬肩をやりたいが川を渡る場所を探す。ちょっと歩かないと浅場が無いようだった。川底が見えないのは危険すぎるので無理はしない。

最初は小型しか掛からず。しかし、当たりと引きはそれなりにあるので期待外れが結構あった。

石の色は良いのだが時間もあるのか掛からない。ある深場の駆け上がり気がになり浅場から深くなる場所を泳がずとビュンと目印が吸い込まれる。掛かるアユは黄色い良型。その繰り返しで一気に目が覚めた。

中には掛かったショックかハリスが飛ばされた。しかし、後で飛ばされた針が刺さったアユが掛かった。

30尾程掛かる。当たりが止まったので、川を渡るのに釣り人がいるので、下流の有沢橋上流の瀬肩まで移動。

とりあえず瀬肩でやってみるもたまに掛かるが掛かるペースが良くない。初日のポイントに昼からやってみる。

今日は月曜にしては土日よりも釣り客多いんじゃない? という感じだった。

しかし、1昨日よりも活性が上がった様に感じられ午後2時頃は1時間20尾ペースの入れ掛りだった。

最終日とあって早めの納竿とした。



No.022

釣行月日: 2026年08月30日(日) 07:00~17:15

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 25℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 61尾, サイズ: 11cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

かなり久しぶりの熊野川。前回本流で追いが上昇傾向にあったので期待して入ってみる。何故か釣り人が居ない。

水温も朝一から25℃と結構高め。午後にはどうなることやら。

まずは瀬の緩い所を養殖オトリで天然に替えたいところが替わらず。

チャラ場に移動してみると小石が移動したのか白い。

これでは掛からんだろうと諦め、流れの分流が良さそうに見えた。弱りかけのオトリを石の寄れで待つこと当たりが…坊主ハゼでなくアユ。これからオトリが循環しだす。

ここで20尾程掛かった。あとが続かず周辺も探しても掛かる気配が無い。風が出てきて鏡のトロ場が波立つ頃に移動。

前回では深場が良かったが、今回はそれよりも岸寄りの浅場に反応があった。

掛かるアユはすべて黄色くサイズも少しアップした感じ。夕方、目の前で2尾程黄色い付きアユが見えたので見釣りをしながら掛けた。2尾とも掛けることができた。腹まで黄色いアユ。

水温が下がってくればもう少し掛かる範囲も広がるのではと思った。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.023

釣行月日: 2026年09月05日(土) 08:00~16:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 若干高め

釣果: 62尾, サイズ: 6cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.15

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

雨と思っていたが天気が晴れの予報になっていたので急遽安曇川へ。

水量も増えてちょっと高めだった。気温も水温も下がり気分的に楽になった感じ。

古川からスタート。先行者が数名居られた。掛かっている様子はみられない。厳しそう。

養殖でスタートするも掛かってもチビばかり。一向にサイズが大きくなっていない。もう今年はこんな調子で終わりか?

昼までに40尾掛かる。大半がビリ。気分を変えるために野尻まで移動。しかし、サイズは変わらずビリ。

広範囲に攻めてても状況変わらず。曇って来て肌寒くなってきたので納竿。

今年の安曇川は今回で終了としようかな。



No.024

釣行月日: 2026年09月18日(金) 08:20~16:50

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 18℃

河川: *****

水況: 若干高め

釣果: 56尾, サイズ: 15cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

三度目の正直というかやっとこの川に釣行が出来る。

不幸や雨続きで釣行の予定が延期になり今年は行けるかどうか心配していた。オトリ屋さんで鮎談義をしてから川へ向かう。昨日まで雨だったようでオトリ店に行く前に川を見てたけど石には食み痕がまばらであった。

水温は低めでちょっと様子をみながら泳がせてみた。手前の緩めの場所を泳がせてみても流れの方へ向かうので流されないように止めてたら一発目が掛かった。同様にオトリ任せで行ってこいの泳がせでポツリポツリと掛かった。

上流へ移動しながら掛かるポイントを確認していく。

結果的には普通の瀬では掛からず、流れの緩いトロなどや岸寄りで掛かった。午前中は30尾。

午後からはひと通り掛けたら後が続かず失速するも50尾超え。夕方には水位も少し下がり石は食み痕で磨けていた。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.025

釣行月日: 2026年09月19日(土) 08:30~16:50

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: *****

水況: 平水

釣果: 50尾, サイズ: 14cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

オトリ店で談義中に牛之助さん, 子牛さんが来られしばし談義をしてから各々釣り場に向かった。

自分は下流側の開けたポイントへ行ってみる。釣り人もそれなりに入っている。浅場中心のポイントで流れの緩い場所からスタート。今日もオトリ任せで泳がせると下へ行ってしまうが無理に戻らず待ってたら掛かった様な感触が…

掛かっていた。掛かるペースはあまり良くなく段々と掛かる気配が無い。波立ちのチャラ瀬など攻めるも掛からず。石は磨けているのに…ヘチなのか芯なのか色々試すもどうも掛からない。

ウロウロするも状況が変わらず, 場所移動するか頭の中で色々考える。

川の真ん中に入り兩岸や上下所謂360度の泳がせでやってみる。時間も昼前になっていたが兩岸でも下でも上飛ばしでも掛かりようやく十数尾掛かった。午後からも歩いてヘチ周辺をメインに攻めて何とか夕方5時頃までに50尾になった所で納竿。



No.026

釣行月日: 2026年09月20日(日) 08:00~15:50

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: *****

水況: 若干高め, 薄濁

釣果: 55尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

遠征最終日となる。オトリ店で談義後, 今度は初日に入ったポイントへ向かう。

既に車があり二人が準備中だったので200m上流のポイントへ行ってみる。

薄濁りで水位も5cm~10cm程高くなっている。大石回りの流れの緩い所から手前から攻めていく。

大体思ったところで掛かる。

少しずつ上流へ移動しながら同じように攻めると入れ掛けではないが飽きない程度に掛かる。

しかし, きつい瀬でも掛かることが判りオトリを入れられる所はすべて入れてみた。

上下に釣り人が居るのでそれ以上の場所は遠慮して細かくポイントを攻めてみた。

4時までやるか50尾なるまでやるかどちらかと考えていた。4時までに55尾できりが良かったので納竿とした。

三日間の遠征釣行も何とか無事に終わって満足だった。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.027

釣行月日: 2026年09月22日(火) 07:15~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 53尾, サイズ: 16cm~21cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

今年初めての入川となる。今となって年券を購入。まずはブドウ園周辺に入るも先行者が2名居た。

空いている場所に入る。最初は蹴られて野アユに変えるのに時間を要してしまった。

いつも掛かるようなポイントを泳がせても反応がない。場所を変えても掛かるような気配が無い。

上流へ歩き吊り橋まで来たが真ん中に釣り人がいて左岸側を攻めているので渡りにくい。

とりあえず下の早瀬の右岸側を攻めてみた。

するとヘチから流芯まで何故か良型が連発。20尾位掛かった所で下のトロ場へと移動。

最初の2尾程掛かってオトリが良く泳ぐようになり入れ掛りが始まる。

途中倶楽部の人々が来られちょっと駄弁った後、東川橋辺りに行くとのこと。

オトリの泳ぎが悪いと野アユの反応も鈍くなり掛かるテンポが遠退く。

4時頃に周りに居た釣り人が居なくなり、今まで攻められなかったポイントをやってみて少し数を稼げた。最後手前の岸寄りを泳がせてたら掛かり溜めようとしていたら団子状になってた為か糸が切れてしまった。55尾の所が53尾になってしまった。時間切れで納竿。



No.028

釣行月日: 2026年09月23日(水) 08:00~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 55尾, サイズ: 16cm~22cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

シーズンも終盤になって来て行ける回数も残り僅かとなるので、別のポイントにしようと考えボダイ周辺に行ってみる。

まだ人は入っていなかった。トロ場からやってみるも朝いちとあつて掛からず。いつもなら数尾は掛かったはずだが…ポイントを移動しようとしてちょっと目をそらして下に歩いたところ何か掛かった様な感触が…

まぐれで掛かった。次来ると期待したがそうはうまくいかなかった。

あまり時間をかけないようにして、掛かるポイントを探してみる。

昨年掛かった岸寄りの大石周辺の流れの緩い場所で良型が連発。昼後rまでに20尾までは届かない状況だった。

何度と場所移動しようかと考えたか…

カワガセ手前まで探って行き大石回りであとは小石底なのだがオトリの行くままに泳がせてたらキラリと閃光が。

通常なら釣り人が立って岸寄りを攻めるのだがその立つ位置で掛かるとは…

いつも同じような釣りをしていたは釣果もあまり変化はないのかも。

色んな釣りをすることも必要かと思い知らされた日となった。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.029

釣行月日: 2026年10月03日(土) 07:45~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 73尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

釣友が先週良い思いをしたポイントに同行。

大社の下流側。前日まで高水でダム放流が止まって平水近くまで水位が下がっていた。苔も十分残っているようだ。

ポイントは岸寄りからスタート。時間も掛かることなく野アユを確保。

周辺でそれなりの回転で掛かった。殆ど立ちこむことなく午前中43尾と予想外の好釣果。

午後からは上流へ向かい掛かるポイントを探してみる。

坊主ハゼと強風で竿の操作がやり辛く苦戦。それなりには掛かるもペースが良くない。午前中にやってたポイントに戻ってやるけど、水位も下がった影響かアユの居つく場所が変わったのなかなか掛からず。

夕方までやって何とか70尾強。動画: <https://youtu.be/G71ljd1qg5A>



No.030

釣行月日: 2026年10月04日(日) 08:10~17:00

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 43尾, サイズ: 8cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

昨晚は宿で釣り仲間らと鮎談義。まあ、後は寝るだけで…夜中雨が降ったらしく路面が濡れていた。

関東から来られた釣友と朝食後ポイントへ向かう。敷屋に行ってみることにした。

曇りでちょっと風が冷たく感じるし、昼頃は雨の予報になっていたのでカッパを羽織っての釣りとした。

昨日同様手前の岸寄りから始める。1尾目は時間も掛からずゲット。

時折、ポーズハゼも掛かり仕掛けの修正もあり時間をとられ調子はいまいち。

思ったほど掛からなかった。でも午前中は30尾は掛かった。

昼食後、小雨の降る中釣り再開。午前中やっていないポイントを攻めるも駄目。

午前中やった所を回って何とか40尾強。

午後からは小雨がはずーっと降っていた。太ももまで浸かると本当に寒く気分も冴えなかった。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.031

釣行月日: 2026年10月10日(土) 07:15~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 49尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

三連休1日目, 請川周辺で片道数百メートルを歩いて昼までに何とか20尾強。

午後からは敷屋に移動するも釣り人が多そうだったので, ぐるっと回って久しぶりの高津橋下流へ。

上流は釣り人が居たので, 下流へ。ハメの上は小石底だったので下流の浅瀬に入る。

一面小石と言っても拳大の石が敷き詰まった浅場である。本宮大社の浅場に似た感じ。

泳がせるとそんなに待つことなく掛かる。周辺で掛かるも入れ掛りではない。

釣り人が居ないので, 下流の急瀬の手前まで釣り下り, 対岸に渡りやってみる。単発ばかりで釣果が冴えない。

中間で右岸に戻りハメの下流の左岸側で入れ掛りモードで5時頃まで掛かって釣果が稼げたがあと1尾が掛からず。

とにかくバレが多発したのも原因かも。



No.032

釣行月日: 2026年10月11日(日) 07:30~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 36尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): VS銀影グランドスリムT中硬硬P93SK

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, 楔: 6.5号本錨

内容:

昨日の夜, 宿で翌日の掛け針を補充しようと探すが持ってくるのを忘れたようだ。えらいことだ。あと2日間あるので, 針の交換頻度を下げてやらねばならないとは… ちょっとストレスが…

おまけに花粉症なのか喉が痛く鼻水も, 体調はあまり良くない。

昨日は歩き過ぎたのであまり動き回らなくて済むように敷屋へ。

いつもの場所からやってみる。1尾めは直ぐに掛かるが後が掛からない。少しずつ移動するも掛からず。

アユが居るのか, 追わないのか, 時間なのか… 少し離れた下流の分流へ移動。

ここはいつ来ても掛かるのだが, 予想通り掛かり20尾程になる。

上流の右岸側に移動して小石底の岸側を攻めて5尾程掛かる。昼になったので, 昼食をとる。

再開しようとベストのポケットからスプールをとりだそうとしたら無い。

周辺を探しても無いので, 9m用の物を仕方なしに使うことにする。針を忘れるは今回は色々あつて気分が冴えない。

気分を取り直してやり始める。午前中掛からなかったところを攻めてみるもやはり殆ど追いが無い。掛かった筋周辺をやったら今回最高の当たりと引きで, ギューンと水中糸が引き込まれ竿が上流にのされそうになる。糸鳴もし慎重に獲り込む。しかし, ショックなことに掛かったのはウグイだった。こんな所に居たんだ…

夕方は空が白っぽくなるせいか水面も白くなり目印が見えない。午後からは失速し釣果が下がってしまった。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.033

釣行月日: 2026年10月12日(月) 07:30~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 有田川(和歌山県)

水況: 若干高め, 薄濁

釣果: 40尾, サイズ: 17cm~24cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.2

仕掛(針): 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

有田に昨日移動したときは熱もありどうなるかと思っていたが、泊まって目が覚めたらほぼ回復。鼻水も喉の痛みもなく熱も下がった。少し元気が出て、昨年の良い思い出が忘れなくて下流の吉備橋へ行ってみる。

濁りは殆どないが右岸側のほうに流れが強くなっていた。

橋まで右岸側を歩いたけど小石になっており食み痕はあまりない。竿を出す気にはなれないがとりあえずやってみた。やはり掛かりそうもないので左岸側へ渡り下っていくと瀬肩でやってみるも掛からない。さらに下がって瀬落ち辺りから食み痕があり奇麗に磨かれている石があった。しかし一向に掛かる気配がない。時間なのか？

このままでは時間が過ぎるだけになりそうなので場所移動することにした。

前尾川橋上流かボダイと思って行ってみるとそれなりのポイントには釣り人が入っている。

ボダイの大岩の下に釣り人が居るので、仕方なしに上流側でやってみる。

オトリまだ変わっていないので深場を泳いでくれるか心配だった。手前からそーっと入れて泳がせる。少しずつ沖に出て上流に向けて泳いでいく。少しずつスピードが上がってきたと思ってたらビューンと目印が走った。やった〜と思い竿を立てると軽い。逆針が外れており蹴られたらしい。気を取り直して再開。少し泳ぎも変わっているが目印が走った辺りの筋を替えた途端水中糸が斜め上流に吸い込まれた。今度こそはと、手ごたえあるし慎重に獲り込む。やっと1尾めゲット。やれやれだ。オトリが元気なのでナイロン02で深トロを目印3個または4個まで浸けてかなりのオバセを効かせて上流に泳がせてやってみると、それなり反応があり趙烈な当たりと引きを堪能しながら時間を忘れてしまうほど楽しい。右岸側の大石が点在する所を攻めても掛かるし最高だった。昼頃までに20尾程になっていた。

大岩の下には釣り人が居なくなった様なので移動してみる。前回掛った兩岸のヘチはあまり反応が無い。さらに下に移動して前回程ではないがポツリポツリと掛かるだけで、4時前には上流にも人が居なくなったので、上流に移動しながら掛からないながら竿抜けを狙って数尾追加して34尾位の所で大岩の周辺でやってみると35尾めが掛かった。5時までもう少し時間があるので掛かった元気なオトリでオバセを効かせた泳がせて入れ掛りに。

40尾になったときに5時の音楽が鳴り始めた。桐の良い所で納竿。

最初は全く掛からずどうなることかと思ったけど最後に良い思い出が出来た。



2026年版 [釣行回数: 34回 平均釣果: 60.2尾 総釣果: 2,047尾 1日最高釣果: 117尾 最長寸: 24cm]

No.034

釣行月日: 2026年10月22日(木) 08:00~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 平水

釣果: 72尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

神奈川から熊野に行かれると連絡があったのと、あと25尾で総釣果が2000尾になることもあり、一旦仕舞った釣り道具を車に乗せて平日日帰り釣行を決行することにした。請川でまずやってオトリを確保したい。前回掛かったポイントにオトリを送り出し、ポイントに行き渡って即当たりがある。幸先良いスタート。

何故か8尾連続入れ掛かる。対岸に陽が射してきてその明るさが川面に反射して来ると何故か当たりが止まった。

少しずつ下に移動しながらやって本流まで来た。本流も掛かる所は大体把握していて数尾掛けて上流に戻る。今まで掛からなかった浅トロに移動して半信半疑に泳がせてたら、掛かった。これかと思い周辺を攻めても掛かる。トロなのに横引き縦引きしても掛かるので追い気のアユが居ることに間違いないと確信。30尾超えた頃に水中糸切れが続き、バレも多発して40尾掛かるはずが33尾程で足踏み状態にイライラが... その頃に藤吉さんが到着。

本宮に行くつもりがこのポイントも良さそうなので移動せずにやることにした。しばし浅トロで掛かる当たりが坊主ハゼみたいで駄なのか掛かったのか判らないようなシーンが多く何か変な感じ。でも掛かり続けた。

2時過ぎには掛かりが遠退いたので少し下流の浅瀬に移動してやるとテンポ良く掛かり続けた。

4時頃には70尾を超えるもその後当たりが止まり5時になった所で納竿。

うまく循環してれば80尾は掛かっていただけではとちょっと反省。31日は大斎原で南こうせつのコンサートのチケットがとれたので、釣りが出来るかは判らないが熊野には行くことになる。

